

## 萎凋細菌病抵抗性の カーネーション新品種「花恋ルージュ」

カーネーションの立枯れ症状を引き起こす萎凋細菌病は、日本の暖地におけるカーネーション栽培上最も重要な土壤伝染病害です。一旦発病すると有効な薬剤が無いことから、抵抗性品種の開発が強く望まれていました。強い抵抗性を有するものとして、これまでに「カーネーション中間母本農1号」が育成され、種苗登録されています。しかし、花が小さく、茎も細く短いなど野生種の性質を強く残しており、実用品種として用いるには問題がありました。

(独) 農研機構花き研究所では、萎凋細菌病に強い抵抗性を有する世界初のカーネーション新品種「花恋(かれん)ルージュ」を育成しましたので、その特性の概要について紹介いたします。

### ☆ 技術の概要

1. 「花恋(かれん)ルージュ」(旧系統名：つくば4号)は、強度の萎凋細菌病抵抗性を持つ「カーネーション中間母本農1号」にカーネーションの品種・系統を戻し交雑し、抵抗性検定による選抜を5回繰り返して育成した世界初の萎凋細菌病に抵抗性を有するカーネーション品種です。



「花恋ルージュ」の花

2. 花色は赤花の代表的な品種「フランセスコ」とほぼ同じ濃橙赤色で、草丈97cm、花の大きさ7.5cm、切り花重22gで「フランセスコ」とほぼ同じです。株当たりの切り花本数は、「フランセスコ」より少なく、「ノラ」より多い4.5本です。

3. 「花恋ルージュ」の発根苗を良く洗い、萎凋細菌病の細菌液に30分間浸した後、滅菌した土壤に定植する方法で、萎凋細菌病抵抗性検定を6回行ってみました。定植後91日目の「花恋ルージュ」の平均発病率は7.1%と、対照品種(「フランセスコ、ノラ」)に比べ、極めて強い抵抗性を示すことが明らかになりました。

表 「花恋ルージュ」の特性

品種名	花色 (JHSカラー チャートによる)	草丈 (cm)	花の 大きさ (cm)	切り花の 重さ (g)	茎の太さ (mm)	茎の やわらかさ 階級値	1年間の株 当たり収量 本数	萎凋細菌 病抵抗性 発病率(%)
花恋ルージュ	0707 濃橙赤	97.3	7.5	22.0	4.1	2.7	4.5	7.1
フランセスコ	0706 鮮橙赤	102.6	7.6	20.2	4.1	3.1	5.0	87.0
ノラ	0402 淡ピンク	85.6	7.5	27.5	4.5	2.5	3.1	97.1

注) 萎凋細菌病抵抗性：萎凋細菌病菌接種後91日目の発病率(%)

### ☆ 活用面での留意点

1. 「花恋ルージュ」は、平成22年2月17日に品種登録出願を行いました。来春、種苗会社に苗を配布予定ですので、農家へ販売されるのは再来春の予定です。

2. 詳しいことは、農研機構花き研究所新形質花き開発研究チーム(TEL: 029-838-6814)へお問い合わせ下さい。

(日本政策金融公庫 農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 袴田勝弘)